

新 年

あいさつ



葉山町長
守屋 大 光

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。昨年は暗いニュースが続く中、秋篠宮家に悠仁さまがご誕生になり日本中に大きな喜びと希望を与えていただきました。又、スポーツ界でもワールドベースボール・クラシックで日本チームが初代の王者に輝き、トリノオリンピックでは、荒川静香さんが金メダルを獲得するなど日の丸が掲揚される度に感動と喜びを味わうことができ、改めてスポーツのすばらしさを多くの人等が感

じたことと思います。

葉山では、少子高齢社会を迎え、子育てに大きな視線が注がれている中、その手引書とも言える「葉みんぐ」はやまキッズ&ベビーガイドブック」を町内のボランティアグループの方々にお願いしたところ手弁当でまとめあげていただき、早速子育てコーナーの窓口で配布しております。

また、子育て総合相談窓口の向側にあるキッズコーナーも同グループのアイデアによるもので「協働」での子育て対策が大きく前進した年でした。本年は、葉山にとっては大変喜ばしい新たな制度が施行されます。

それは、四月二十九日の「みどりの日」が祝日法の改正により「昭和の日」として国民の祝日となります。

ご承知の通り「昭和」は、大正十五年十二月二十五日一時二五分に大正天皇が葉山御用邸付属邸で崩御され、ただちに踐祚の儀が執り行われた後、閣議が開かれ葉山から発せられました。

その歴史を鑑み、記念事業として御用邸の近くにある旧主馬寮の跡地を基点に南は国際村、北は葉山港までの約四キロメートルを結ぶ、安心して歩ける散歩道を計画し、これからその実現に向けて国や県へ、町をあげて要望活動を行ってまいりますのでご協力の程よろしくお願い致します。

また、その他にも「協働」により旧保育園の活用を始め緑の保全対策とし

て、木々にはびこる、つるの除去作業を実施するなど身近な事柄に重点をおいた施策を展開してまいります。

いよいよ国も地方も更に改革は加速し、さまざまな行政課題に取り組まなければなりません。そのスピードに乗り遅れることのないよう機構を改革し態勢を整えて的確に対応してまいります。

この一年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。

二〇〇七・かながわてれび年賀状
市町村長新春挨拶 TVKテレビにて
一月一日(月祝)七時三〇分から放送



賀 年 頭 の ご

新年のごあいさつ

皆さま、あけましておめでとございます。

おそろいで新しい年をお迎えになりましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、北朝鮮の核の問題や、イラクでの痛ましい戦争の激化など、世界中を暴力の嵐が吹き荒れましたが、日本でも官製談合など政治の腐敗による汚職や、いじめによる小中学生の自殺や児童虐待といった、想像もできなかった悲しい出来事に心を痛める日々が続きました。

幸いにしてわたしたちの葉山では、そのような痛ましい事件に見舞われ

こともなく、何とか安らかな生活を保っておりますが、これらのことはすべて他人事ではなく、住みよいまちづくりのために、町の皆さまを中心として、行政と議会が一つになって、知恵を集め行動を起こしていかなければならないと思います。

その一つの拠点として昨年の十月、待ち望んでいた保育園・教育総合センターが消防署のとなりオープンとなりました。ここでは八〇人規模の幼児保育ができることになり、また障害を持ったお子様の教育支援も可能になりました。このような場では、親と教育関係者が、同じ目的で考え、協力して行動することができ、世代をこえて人々がつながる大切なまちづくりであり、「福祉の町葉山」の大きな前進のひとつだと思えます。

この施設を利用して町の皆さまが、積極的に協力の輪を広げていくことができたら、どんなに素晴らしいことでしょう。

近年、葉山では人口が少しずつずつ増えていて、やがて三万三千人に近づこうとしています。何よりもうれしいことは、子どもの数が増えて、街中でも赤ちゃんや小さなお子さんの姿をよく見かけることです。これは高齢化率の高い葉山の将来にとって、かけがえない希望であり、朗報です。

また一方では、お年寄りの多いわが町ですが、町内会や自治会とも関係を

持たないという方もいらっしゃると思います。新聞やニュースでは、日常茶飯事のように、きょうも都会の片隅やどこかの町で、だれにも気づかれず孤独のまま亡くなる人の記事を目や耳にします。葉山でこのようなことは決して起こしたくはありません。そのためにも、町内会や自治会の輪に参加してみることが大切だと思います。

近頃、各町内会では、警察と協力して学童の下校時の安全パトロールや、町内会全域の防犯パトロールに熱心に取り組んでおりますが、この活動はそれだけではなく、参加した人々の間に親しい関係が生まれ、お互いの心が通じ合うコミュニケーションの復活への芽が育っているように感じられます。地域で一体感が生まれることは、安全に安心して住めるわが郷土にしていく第一歩ではないかと考えます。

町内会や自治会が一番身近な社会参加の場です。今年こそは、行事や集会にどんどん参加して、よいお友だちを見つけてください。それがまちづくりの基本と私は信じています。

新しい年の始まりです。笑顔と元気で希望に満ちた第一歩を踏み出しましょう。皆さまのご多幸を心からお祈りいたします。



葉山町議会議長
伊藤 友子